

2022年(令和4年)3月4日

藤沢市立六会中学校
保護者ならびに関係者の皆様

藤沢市立六会中学校
校長 亀山 憲生

2021(令和3)年度 学校評価の結果について

春寒の候、保護者ならびに関係者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、学校評価の回答につきましては、お忙しい中ありがとうございました。結果につきまして、次のようにご報告させていただきます。

I アンケート調査の結果から

1…そう思う 2…ややそう思う を合わせた数を肯定的な評価
3…あまり思わない 4…思わない を合わせた数を否定的な評価
と解釈しています。また、数値は1年生～3年生の合計の値です。

1. 生徒の調査結果から観られる傾向として

(1) 生徒の意識として肯定的にとらえている割合が高い項目

- 人と思いやりを持って接し、家族や友人を大切にしている…95.4% (2019年度96.5%・2020年度97.6%)
- 先生や友だちにあいさつしている…95.0% (2019年度95.0%・2020年度96.5%)
- 感染症対策についてどうしたらよいか知らされている…94.1% (2020年度93.4%)
- 学校行事(体育部門・学年行事等)に積極的に参加できた…93.4% (2019年度91.7%・2020年度調査なし)

(2) 生徒の意識として肯定的にとらえている割合が低い項目

- 家庭で予習や復習に取り組んだ…62.2% (2019年度55.0%・2020年度64.5%)

生徒全体の肯定的回答の割合は85.6% (2019年度82.6%・2020年度87.9%) でした。回答より質問項目別に見ると「人と思いやりを持って接し、家族や友人を大切にしている」、「先生や友だちにあいさつしている」「感染症対策についてどうしたらよいか知らされている」につきましては継続して生徒から高い評価を得ています。「学校行事(体育部門・学年行事等)に積極的に参加できた」が一昨年度に比べて高い評価になっているのは、新型コロナウイルス感染症により、昨年度、今年度と生徒の活動に大きな制限がかかった中で、集団で活動する喜びを再認識した生徒が多かったことも一因ではないかと考えております。

一方で、「家庭で予習や復習に取り組んだ」への評価は、今年度も低い水準となりました。日々の中学校生活の忙しさが一因になっていると考えられますが、これからの予測困難な社会においては、生徒が自分自身で課題を見つけて学ぶ姿勢は、生涯にわたって必要な力です。時間の使い方も含め、生徒への働きかけを続けてまいりたいと思います。

2. 保護者の調査結果から観られる傾向として

(1) 保護者の意識として肯定的にとらえている割合が高い項目

- 学校は情報「便り・お知らせ・HP等」を発信している…90.3%(2019年度87.9%・2020年度94.0%)
- 子どもはあいさつする習慣を身につけている…88.3%(2019年度86.9%・2020年度88.3%)
- 子どもは思いやりのある子に育っている…87.9%(2019年度89.6%・2020年度96.2%)

(2) 保護者の意識として肯定的にとらえている割合が低い項目

- 子どもは予習・復習など家庭での学習をしている…51.4%(2019年度50.3%・2020年度62.1%)
- 学校は卒業後の進路について情報を知らせてくれる…54.2%(2019年度53.4%・2020年度72.0%)

全体の肯定的な回答の割合は 75.2 % と、ここ数年では低い評価となりました。結果を真摯に受け止め、改善に向けて職員一丸となって取り組んでまいります。また、評価が低くなったことについては、新型コロナウイルス感染症の影響で、来校いただく機会が大幅に減り学校の様子が見えにくくなったこと、またそれにより「わからない」という回答が増えたことも要因の一つとして考えられます。「学校は情報（たより・お知らせ・HP）を発信している」につきましては、高い評価をいただきましたので、直接学校の様子をご覧ください機会が少ない中でもできる限り子どもたちの様子が保護者に伝わるよう、今後も情報の発信に努めてまいります。

一方、「学校は卒業後の進路について情報を知らせてくれる」の評価については、低い結果となりました。今後はさらに、三者面談や学級・学年保護者会等におきまして、全学年の保護者に進路に関する情報をわかりやすく提供することに努め、生徒一人ひとりのより良い進路選択に向けて一層の情報共有を図ってまいります。なお、進路だよりを学校ホームページに公開しておりますので、将来の進路を考える際の参考になさってください。

II 今年度の取り組みと次年度へ向けて

- 【学校目標】 六会中に関わるすべての人達の素晴らしい生活(Wonderful Life)のために
- 優しく、思いやりのある人となる
 - 自ら行動できる人となる
 - 周囲と協力できる人となる
 - 努力を継続できる人となる
- 【キャッチフレーズ】 六会中プライド：挨拶・優しさ・努力
- 自分も大切、みんなも大切
 - 当たり前を積み重ねて特別にする
- 【重点目標】 目標の共有・授業の充実・生徒主体の活動

今年度は、コロナ渦でもできることを模索し、安心・安全を確保しつつ生徒の自主性を育むことを念頭に置きながら教育活動を行ってまいりました。そのような中、自分たちにできることを精一杯考え、仲間とともに粛々と実行しようとする生徒の成長した姿を見ることができました。そして、生徒がお互いに関わり合い、協力し合って活動する中で、「思いやり」に関する項目は、今年度も生徒・保護者ともに肯定的な評価をいただきました。

次年度においても、感染症対策を施しながら、生徒が主体的に、周囲と協力しながら様々なことに粘り強く取り組めるよう支援してまいります。また、授業においては、教材・教具をより工夫し、生徒主体のわかりやすい授業の実践に努めてまいります。

◎自由記述欄には「学習・評価」、「学校生活全般」、「部活動」、「生徒指導」、「進路指導」等へのご要望等、厳しくも大変貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。頂戴したご意見を真摯に受け止め、職員一同、さらにより良い学校づくりに励んでまいりますので、今後とも本校の教育活動にご支援、ご協力をよろしく願いいたします。この報告と学校評価委員会（学校評議員会等）の検討をもとに、藤沢市教育委員会に自由記述を含めて文書で報告いたします。